

靈を見分ける目

ヨハネの手紙Ⅰ四章1〜6節

愛する人たち、どの靈も信じるのではなく、神から出た靈かどうかを確かめなさい。偽預言者が大勢世に出て行ったからです。(一)

ヨハネがこの手紙を書き送った教会が抱えていた大きな問題の一つは、教会内に偽預言者、偽教師と呼ばれるような人々がいて混乱をもたらしていたことでした。その問題に正しく対処するために、ヨハネは今日の聖句のように勧めました。立派なことを語ったり、驚くべきわざを行っていても、その背後にある靈が必ずしも神からのものとは限らないからです。その靈の正しさを見極める鍵は、その信仰告白にあると2、3節で続けます。すなわち、ナザレのイエスは神が肉体をとり、人となってこの世にこられた救い主であると告白することです。信仰内容を曖昧にしたまま、目に見えるところだけで神のわざを判断しようとするとき、教会は命を失います。このような危険から教会を守るためにも、神の言葉に聴き続け、正しい信仰を常に告白していく私たちでありたいと願います。